

第79回匂いと香りのセミナー「音楽と香り」が、江川耳鼻咽喉科ともりやま耳鼻咽喉科の共催で、令和元年9月5日(木)19:00~21:30、マナーハウス島津重富荘のグランドボールルームで行われました。演奏はピアノ桃坂寛子さん、ヴァイオリン今林吹音さんに依頼し、曲目は①ラヴェンダーの咲く庭で(ナイジェル・ヘス 作曲)②情熱大陸(葉加瀬太郎 作曲)③大河ドラマメドレー(篤姫~真田丸~西郷どん)でした。今回のテーマは「音楽と香り」として、素敵な演奏を聴きながら、味と香りを楽しみ、新しい発見のある魅力あふれる音楽会、食事会にしようかと企画しました。結果、103人の参加者でとても盛会裏に終わりました。

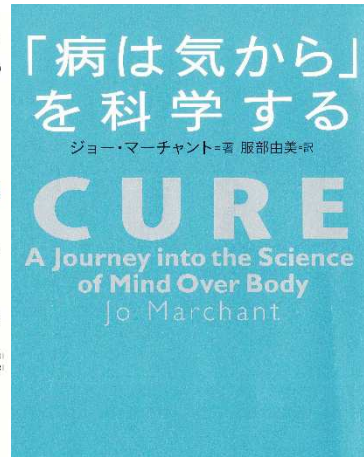
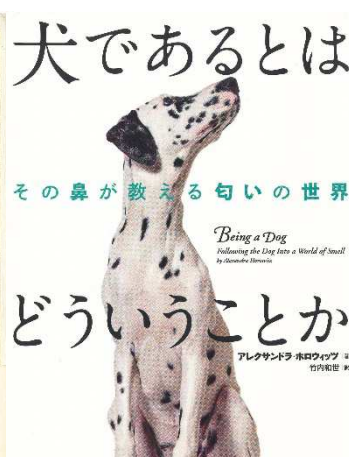
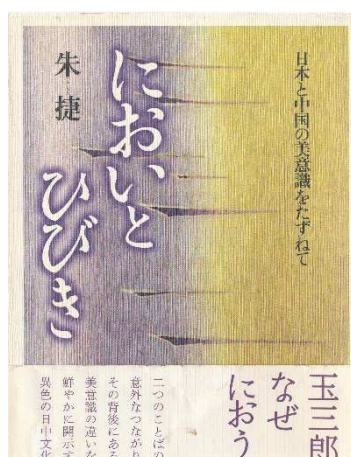
「音楽」と「香り」がどのようにつながるかは、下記に紹介してある「においとひびき」に詳しく書かれています。「にほふ」というのは、ニ(丹、赤い意)ホ(秀、ぬきんでて表れているもの)フ(接尾語)とから成る語です。そこから、美しいものの色や色つやについていうのに使われ、さらに上代では、立ちのぼるように感じることから、嗅覚の表現にも転用されました。中古では、内から美しさがあふれ出る感じがする意も表すようになりました。源氏物語の若紫には「いとあてになまめいたまへれども、にほひやかになどもあらぬを」と兵部卿宮を評している場面があります。「あて」は高貴、「なまめく」は優美という意味で、高貴や優美ではあるが「にほひやか」でないと、「さらに一段上の価値を有するものに欠ける人物」といささか酷評しています。実は、その中古時代の最高の評価に「匂」という漢字を当てていますが、これは日本人の造語で中国語にはありません。

キーワード：音+匂=韻【韻の旧字形】

日本人は「匂」という字を、中国語の「韻」という字から借用しました。中国において、韻とは最も優れたものを表しています。匂い立つ美しさを、「清香多韻」や「香得有韻」といい、超然とした「風韻」、大気の風格としての「大韻」、気高くて剛直な「雅正之韻」、無欲の人または汚れを知らない「高韻」、生まれながらの高貴な血統「名家韻」などあり、これらの使い方から、中国人がいかに「韻」を大事にしたかがわかります。そして、日本語の熟語にもある「気韻生動」とは、絵や書などに対する最高の評価です。

もうお分かりいただけたと思いますが、音楽の奏でる韻は、まさしく匂い立つ香りそのものなのです。患者の聴覚と嗅覚を大切にする耳鼻咽喉科医の使命をあらためて感じます。

<院長おすすめの本>



夏の思い出 #endofsummer

今年の夏の思い出は、香港旅行です。連日テレビではデモの報道が流れ、飛行機が欠航となった約一週間後に予定していたので、キャンセルするべきかどうかとても迷いましたが、結果旅行中デモの影響もなく無事に楽しい旅行になりました。先生はじめ病院スタッフにも大変ご心配おかけしました。

猛暑、そして台風の進路にドキドキしたお盆にディズニーランドへ出掛けたことです。

出発前日まで海遊びしていた娘よりも元気に動けた私。最新アトラクション「ソアリン」も満喫。千葉在住の友人にも会えて楽しかったです！

今年の夏は、長崎旅行を楽しんできました。 島原・雲仙～長崎市内、軍艦島、伊王島～佐世保（ハウステンボス）など、スケジュールいっぱいでしたが、お天気にも恵まれ、あっという間の3日間でした。その中でも（ご主人さんが長崎出身）のスタッフに、いいお店をいっぱい教えて頂き、美味しい物もたくさん食べて、すごく充実した思い出に残る旅行になりました。 長崎！とっても素敵なところでした♡♡

8月19日の夜、初めての姪っ子が誕生しました！！周りの人たちからも姪っ子は可愛いよと聞いていたのですが本当に可愛いですね♡生まれてしばらくは毎日会いに行っていました。可愛いけど、育児大変ですね。お母さんってすごいと実感した夏でした。生まれて一か月以上経ちますがすくすく育てくれて、もうお顔は二重あご…（笑）これからの成長が楽しみです♪

今年は夏☆っぽいことはしてないのですが、8月に和装で写真を撮っていただく機会がありました。お天気もよくってお日さまカンカン照りの中、外にロケに行きました。暑かったのですが、ハンディ扇風機をずっとあててくださって、汗びっしょりにならずに撮影できました。素敵なカメラマンさんとスタッフさんのおかげで、とっても楽しくステキな写真を撮っていただけました。いい思い出ができました。

海水浴、キャンプ、プール、花火大会、夏祭り、長崎旅行、釣り、カブトムシ取りなどなど、子供達の思い出づくりにと夏にできることは全部経験。しかし、夏休み終わりに息子に「まだ経験してないことが1つ！ディズニーランドに連れて行ってもらいたかったなあ」と残念そうに言われてしまいました。子供も楽しそうにしていたのですが、来年はプランを考え直さなきゃいけないのでしょうか……

今年の夏は、引っ越しで終わりました。家族4人分全て私が準備し、荷解きまで。

その翌週に、両親の引っ越しもあり、体はボロボロでした。約1か月後、ぎっくり腰になり仕事も休み休み、皆様にも大変ご迷惑をおかけしました（泣）。もう二度と荷物は増やしたくないと感じる今日この頃です。

今年の夏の思い出は、念願であった山形鶴岡市へ武中学校の親善訪問団歓迎交流会に参加できたことです。鶴岡第二中と兄弟校盟約44年目。話に聞いていたとおり庄内空港での盛大な歓迎をうけ薩摩藩と庄内藩とのかかわりの歴史資料館、羽黒山石段登り、南洲神社めぐり西郷南洲翁と菅臥牛翁の「徳の交わり」を学びました。鶴岡の方々は、とても優しくおもてなしが素晴らしかったです。ありがとうございました。

私の今年の夏の思い出は、引っ越しです。4年前に鹿児島市内から地方にわざわざ引っ越しをしたにもかかわらず、今度は自分のやりたい仕事の為だけに家族を巻き込ん小学一年生になったばかりの息子を転校させてまで引っ越しをしました。私は結婚に向けておらず、しかも子供を持つべきではなかったのではないかと気づいた夏でした。ただ今は中途半端なまま自分が出来る事を一生懸命やるしかないと思う今日この頃です。

